

確認申請書作成支援ソフトSPICA（スピカ） Ver. 1.1.1 リリースのお知らせ

確認申請書作成支援ソフトSPICA〔スピカ〕 Ver1.1.0からVer1.1.1への主なプログラム改修項目は以下の通りです

1.帳票出力時の余白調整機能を追加しました

帳票の印刷位置の調整機能を追加しましたので、お使いのプリンタに合わせて余白を微調整出来るようになりました
また、合わせて帳票の文字サイズを小さくして左右の余白を確保出来るようになりました

環境設定

アプリケーションパス: C:\SHizuoka\JHMSPICA
 データ保存先: C:\SHizuoka\JHMSPICA\data
 パージョンアップチェック: 自動時チェック [する] ※インターネット接続していない場合は『しない』を選択してください。
 リリースURL: http://www.shizuoka-ken.or.jp/download/naschisen_shinpro
 昔入力タグ表示: 全て表示
 月締め請求業者: 契約業者
 余白設定: 上部 10 mm 左部 15 mm 余白設定を初期値に戻す
 ※印刷可能範囲はプリンタにより異なります。範囲を超えて設定すると、切れたり改頁されてしまいますのでご注意ください。

余白の初期値は上部：10mm 左部：15mmです

上余白の幅を指定
 左余白の幅を指定

【ご注意ください】
 お使いのプリンタにより印刷位置及び印刷可能範囲が異なりますので、普段申請書を出力するプリンタで調整してください
 ※余白が大きすぎると1ページに納まらなくなりますのでご注意ください

また、この設定はSPICAでのみ有効となります
 他のソフトに影響はありません

2.帳票出力・FD出力時に未入力チェック等のエラーチェック機能を追加しました

エラーチェック対応の申請書は（計画変更）確認申請書（建築物・工作物・昇降機）、建築工事届、中間・完了検査申請書です

申請書印刷・FD出力 を選択した際に、エラーチェック処理について選択します。

エラー内容はメモ帳で確認しながら申請書を修正したり、印刷することが出来ます。また、カンマ区切りで出力しますので、CSV形式で保存すればEXCEL等の表計算ソフトで閲覧することも可能です。

エラーはありませんでした。

エラーレベル	対象面	エラー内容
エラー	第三面	申請に係る建築物の最高の高さが第四面と整合していません
エラー	第四面-種番号01	床面積の合計(P-1)が第五面と整合していません

エラーや未入力の内容が表示されます

※環境設定画面で、印刷時・FD出力時それぞれにおいてエラーチェックを行うかをあらかじめ設定できます。

3.入力画面下部に、入力の注意事項及びボタンの説明表示を追加しました

画面下部に、申請書作成時の注意事項や、操作ボタンの内容説明が表示されます
 ※現在入力中の項目（カーソルのある項目）が対象となります

なお、注意事項につきましては、一戸建て住宅を中心とした内容となります

4.申請書の一面（記名押印欄）は改行可能とし、出力時のレイアウトを調整出来るようにしました

今までは、申請者名が自動改行される為、印刷レイアウトを空白（スペース）等で調整して頂いておりましたが、「改行」を入力出来るようにしましたので、出力帳票のレイアウト調整が容易に出来るようになりました

確認申請書 建築物（第1面）

建築主事又は指定確認検査機関

機関名 (一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター

宛名 理事長 香山 巖

申請日 平成28年 3月30日

申請者氏名(押印欄)
 まちづくり不動産
 代表取締役 まちづくり 太郎

改行 が出来るようになりました

改行により 帳票の出力位置調整が容易になりました

確認申請書（建築物）
 （第一面）
 建築基準法第9条第1項又は第5条の2第1項の規定による確認を申請します。
 この申請書及び添付図面に記載の事項は、事実と相違ありません。
 (一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター
 理事長 香山 巖 様
 平成 28 年 03 月 30 日
 申請者氏名 まちづくり不動産
 代表取締役 まちづくり 太郎 印
 設計者氏名 代表設計者 三郎 印